

令和四年度

第4回

大玉村民俗芸能大会

民俗芸能発表

● 演目解説 懸田 弘訓 氏
(大玉村文化財保護審議会委員長)

今回は南相馬市鹿島区・相馬流れ山踊り伝承保存会の
みなさんにも特別出演いただきます。



玉井二区太鼓台

(玉井二区若連)

玉井二区の太鼓台は、明治38年日清戦争の戦勝祝いとして二本松若宮の太鼓台を新しくした際、玉井二区の玉応平次郎氏が二本松藩時代からの貴重な太鼓台を譲り受け、同区若連に呼びかけて曳いて来たといわれている。

【村指定無形民俗文化財】

特別出演

相馬流れ山踊り

(相馬流れ山踊り伝承保存会)

南相馬市鹿島区

【国指定重要無形民俗文化財】



旧奥州相馬中村藩主相馬氏の祖平将門が下総で始めたといわれている相馬野馬追は、「お行列」「神旗争奪」「野馬懸」から成り立っている。「流れ山踊り」は「雲雀が原での神旗争奪」の前に、100人を超える踊り手が披露する。この唄は「相馬の国歌」「相馬の君が代」とまでいわれて大切に守り伝えられてきたもので、今では野馬追に欠かせない唄と踊りである。南相馬市には、小高区、原町区、鹿島区にそれぞれ保存会があり、1年交替で演じている。



本揃の田植踊

(本揃田植踊り保存会)

古くから本揃地区に伝わる民俗芸能で、稲作の過程を笛や太鼓、唄の囃子にあわせて踊るもので、21種の演目があり、小正月に豊作祈願や厄払いに踊られていた。現在は毎年ふるさとホールにて踊られている。

【村指定無形民俗文化財】

日時

令和5年 1/22 日 午後1時から

会場

大玉村農村環境改善センター
多目的ホール



神原田神社十二神楽

(神原田神社十二神楽保存会)

今から約250年前から伝わる出雲流神楽で、郡山市熱海町高玉から伝来したものとも言われている。現在春と秋の例祭に五穀豊穡を祈願して奉納されている。

【村指定無形民俗文化財】

玉井三区太鼓台

(若桜会)

平成9年に同区住民の協力により、太鼓台が作られた。玉井二区の太鼓台とともに秋祭りに太鼓台を運行している。



スケジュール

- ◆13時00分～ 開会式
- ◆13時15分～15時 ①玉井二区太鼓台 (玉井二区若連)
- ②【特別出演】
相馬流れ山踊り (相馬流れ山踊り伝承保存会)
- ③本揃の田植踊 (本揃田植踊り保存会)
- ④神原田神社十二神楽 (神原田神社十二神楽保存会)
- ⑤玉井三区太鼓台 (若桜会)

主 催 大玉村教育委員会・大玉村民俗芸能大会実行委員会
共 催 大玉村・大玉村文化団体連絡協議会
後 援 福島民報社・福島民友新聞社
問い合わせ 大玉村教育委員会 生涯学習課 ☎ 0243-48-3139